

1. スキマのない規制

規制区域

○都道府県知事等が、**盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を規制区域として指定**

- ▶ 宅地完成等工事規制区域：市街地や集落、その周辺など、人家等が存在するエリアについて、森林や農地を含めて広く指定
- ▶ 特定盛土等規制区域：市街地や集落等からは離れているものの、地形等の条件から人家等に危害を及ぼしうるエリア（斜面地等）も指定

※ 「都道府県知事等」とは、都道府県知事、指定都市・中核市の長

○区域指定に**市町村が関与**できる仕組みを導入（指定の際の市町村への意見聴取、市町村からの指定の申出）

○都道府県等は、定期的に、規制区域の指定や盛土等による災害防止のための対策に必要な**基礎調査**を実施

規制対象

○規制区域内で行われる盛土等を**都道府県知事等の許可**の対象とする

○宅地完成等の際に行われる**盛土**だけでなく、**単なる土捨て行為や一時的な堆積についても規制**

※ 許可された盛土等については、①所在地等の一覧を公表するとともに、②現場での標識掲出を義務化し、無許可行為の早期の摘発につなげる。

(参考) 改正前の宅地完成工事規制区域

【規制対象】

- 宅地完成するための盛土・切土

⇨ **【区域指定のイメージ】**

主に、丘陵地にある市街地（又は今後市街地になりうる土地）の区域を指定



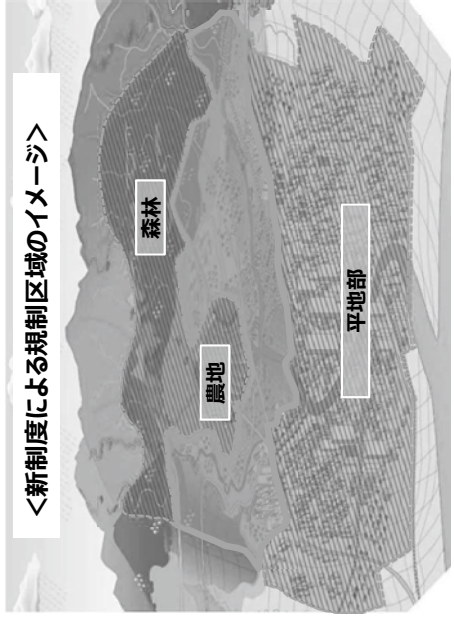
新制度による規制区域

【規制対象】

- 土地（森林・農地を含む）を造成するための盛土・切土
- 土捨て行為や一時的な堆積

⇨ **【区域指定のイメージ】**

改正前の宅地完成工事規制区域に加えて、土砂流出等により人家等に被害を及ぼしうる森林、農地、平地部の土地を広く指定



2. 盛土等の安全性の確保

許可基準・手続

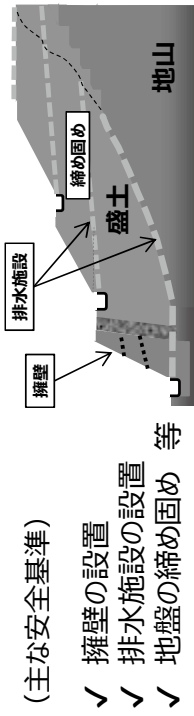
- 盛土等を行うエリアの地形・地質等に応じて、**災害防止のために必要な許可基準を設定**
 - ※ 許可に当たっては、工事主の資力・信用、工事施行者の能力についても審査
- 許可に当たって、**土地所有者等の同意** 及び **周辺住民への事前周知（説明会の開催等）** を要件化
- 許可基準に沿って安全対策が行われているかどうかを確認するため、
 - ① **施工状況の定期報告**、② **施工中の中間検査**及び③ **工事完了時の完了検査**を実施

※ 地域の実情に応じ、条例で、許可基準の強化のほか、定期報告の頻度や内容、中間検査の対象項目等の上乗せができる旨の規定を措置。

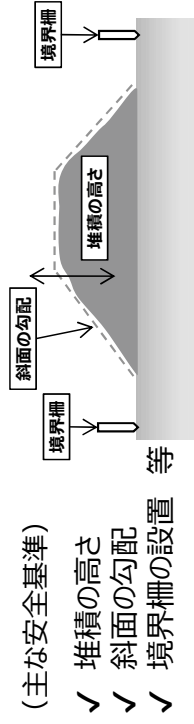
中間検査 完了検査

■ 災害防止のための安全基準の設定

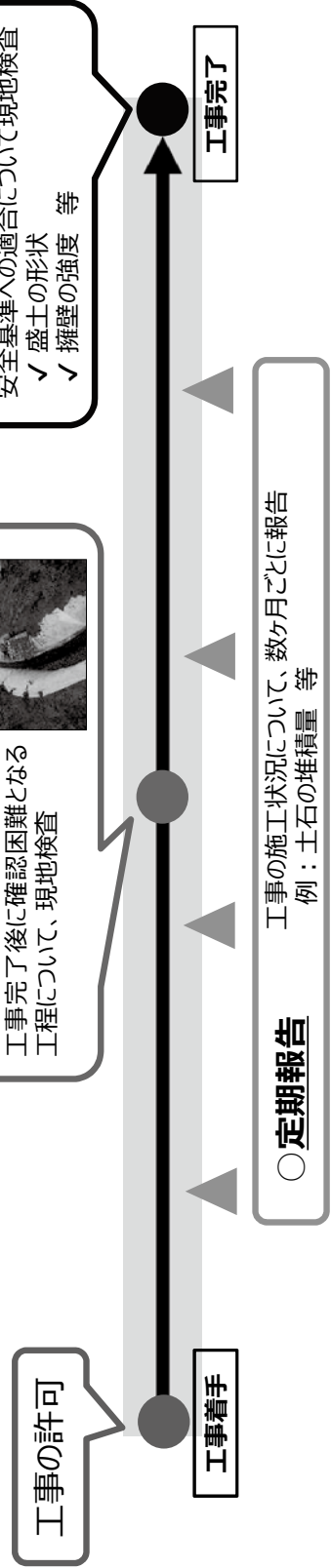
<盛土・切土>



<一時的な堆積>



■ 施工中・完了時の安全確認

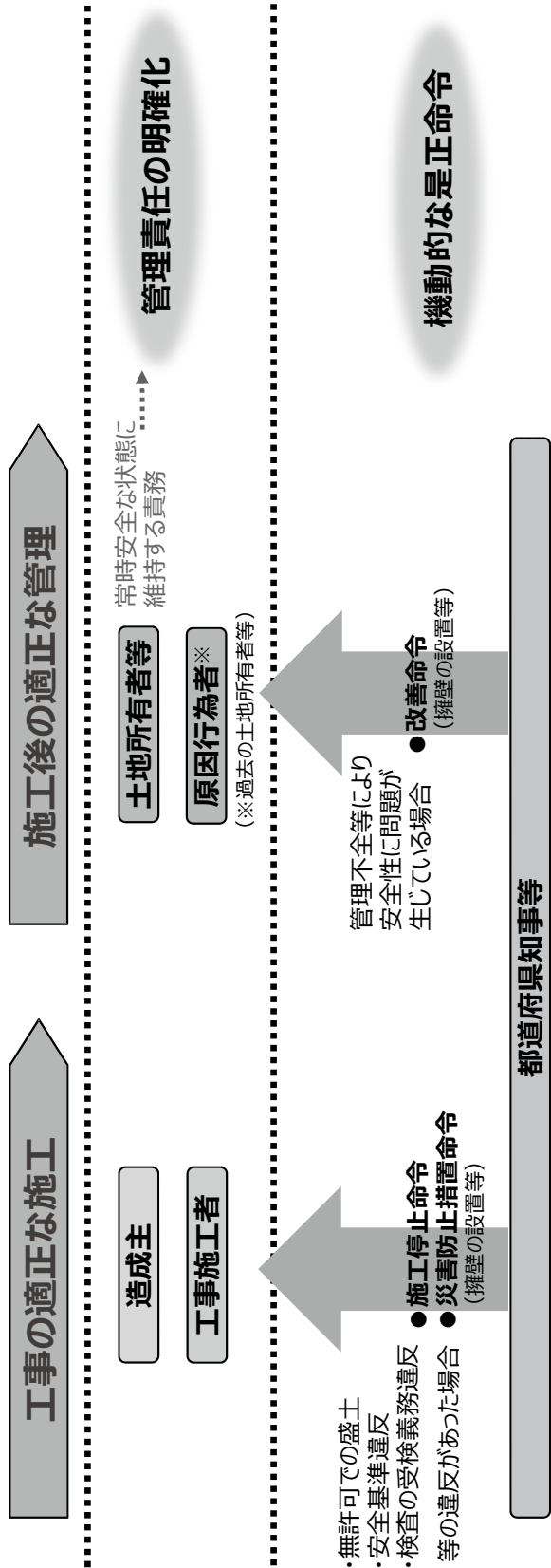


3. 責任の所在の明確化 / 4. 実効性のある罰則

管理責任 ○盛土等が行われた土地について、土地所有者等が常時安全な状態に維持する責務を有することを明確化
 ※ 「土地所有者等とは、土地の所有者、管理者、占有者。土地が譲渡等された場合でも、その時点での土地所有者等に責務が発生。」

監督処分 ○災害防止のため必要ときは、土地所有者等だけでなく、原因行為者に対しても、是正措置等を命令
 ※ 当該盛土等を行った造成主や工事施工者、過去の土地所有者等も、原因行為者として命令の対象になり得る。

罰則 ○罰則が抑止力として十分機能するよう、無許可行為や命令違反等に対する懲役刑及び罰金刑について、条例による罰則の上限より高い水準に強化



※ 命令の相手方を確知できない、命令するいとまがない、命令された者が期限までに対策を実施しない等の場合には、都道府県知事等が代執行。
 ※ 都道府県知事等による適時適切な命令発出がなされるよう、緊急時においては国が都道府県知事等に対して指示を行うことが可能に。

○無許可、安全基準違反、命令違反等に対する懲役刑及び罰金刑について、条例による罰則の上限より高い水準に強化 (最大で懲役3年以下・罰金1,000万円以下)
 ○法人に対しても抑止力として十分機能するよう、法人重料を措置 (最大で3億円以下)